

開運祈願の寺

周防国分寺の西端には、聖天堂があります。このお堂は2008年に完成しました。創建当初の聖天堂は、1702年に地元の大名家である毛利吉広によって建立されました。聖天尊は、健康、商売繁盛、夫婦和合および幸運全般を与えてくださる神様です。障碍（妨げ、トラブル、破壊）を司る神（悪神）であったガネーシャ神が十一面観音菩薩によって善神に改宗し、仏教を守護し、障碍を除いて財運と福運をもたらす神として広く信仰されています。寺院の外装には、山本歩の手掛けた獅子とゾウの魅力的な建築彫刻が施されています。向拝（張り出した屋根）の入り口の内装は、繁栄、幸運、金塊等、鍵および数珠の直接的なシンボルが描かれています。数珠の真上の漢字は福（幸福の意味）とあります。